

練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」 平成23年度検証授業事例紹介



練馬区

はじめに

本冊子では、平成23年度練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」において実施された区内小中学校での検証授業の事例を抜粋し、科目ごとに紹介しています。

本事業の取組をまとめた推進報告書および教育プログラムを紹介したティーチャーズガイドとともに、ご活用いただければ幸いです。

目次

● 小学校

総合的な学習の時間	2～3
図画工作	4
クラブ活動	5～7

● 中学校

総合的な学習の時間(職場訪問)	8
部活動	9

(参考)平成23年度検証授業実施校一覧 ※本冊子では、この内8校についての事例を紹介しています。

	科目	学校名	学年	人数	時間数	ねらい
小学校	総合的な学習の時間	石神井東小学校	6年	47名	25時間	地域を愛する気持ちを育てる／自らの生き方を考える。
		富士見台小学校	6年	120名	1時間	働く人の気持ちや仕事への誇りに触れる。
		東京学芸大学付属大泉小学校	4-5年	22名	22時間	アニメ文化の再発見／相手意識・責任感／国際理解。
	図画工作	関町北小学校	6年	99名	8時間	プロの仕事を通して生き方を考える。作る楽しさを感じる。
	クラブ活動	田柄第二小学校	4-6年	37名	1時間	ホンモノの仕事の凄さを実感する／作るおもしろさを知る。
		大泉東小学校	4-6年	21名	4時間+α	やりたいことにねばり強く取り組む姿勢を身に付ける。
大泉北小学校		4-6年	33名	1時間	ホンモノの仕事の凄さを実感する／作るおもしろさを知る。	
中学校	総合的な学習の時間(職場訪問)	豊玉中学校	1年	7名	1.5時間	興味のある職業について理解する。
	部活動	開進第三中学校	1-2年	※講師による授業は未実施		プロのお仕事の凄さを実感する／動くおもしろさを知る。
		田柄中学校	1-2年	11名	1時間+α	プロのお仕事の凄さを実感する／動くおもしろさを知る。

●「アニメ産業と教育の連携事業」について

これまでの活動内容・各学校での実施状況・制作されたアニメ作品などをホームページに掲載しています。

練馬アニメーションサイト内 <http://www.animation-nerima.jp/cooperation.html>

●ティーチャーズガイドほか、各種資料・ワークシートなど

各学校配備のグループウェアパソコンからダウンロード可能です。

グループウェア→部門フォルダ→区民生活事業本部→産業経済部→商工観光課→アニメ産業振興係

石神井東小学校にてアニメ制作体験プログラムを行いました

期間:平成23年10月28日(金)～12月19日(月)

学年:6年生2クラス(47名)

科目:総合的な学習の時間 時間数:25時間

担当:壺坂憲司先生、山岡恭子先生

講師:有原誠治氏(元・虫プロダクション)

【ねらい】

- 練馬のアニメ産業の実態や仕事の内容を学ぶことを通して、地域の中心的な産業であるアニメ産業やアニメーション作りへの興味・関心をもつ。
- プロから教えてもらった内容(対象を丁寧に観察する・発信する意識をもつ・動きを通して感情を伝える)を活用し、友達と協力しながらアニメーション制作を行う。
- アニメーションを制作する経験や講師の生き方を通じて、自らの生き方について考える。

【授業の内容】

<知る段階>(8時間)

練馬区内で制作されたアニメを鑑賞したり、講師の有原さんよりアニメの歴史を学んだ。その後、2枚の紙を使ったくるくるアニメなどを通じて、日々見ているアニメの動きのしくみを学んだ。

<つくる段階>(13時間)

本格的にアニメ制作に挑戦。まずキャラクター、ストーリーを個々に考え、その後グループで実際に制作するものを決めた。細かい動きを確認するためタイムシートを描き、分担して作画に取り組んだ。5～7人程度で100枚前後の枚数を作画するのは時間も手間もかかり大変だったが、作品発表で、パソコンに取り込まれ映像化された動画を目にすると、拍手や笑いが巻き起こり、達成感・満足感を得る結果となった。

<伝える・振り返る段階>(4時間)

班ごとにプレゼンテーションを行い、完成した作品を鑑賞した。その後作品の感想について話し合った。

【子供たちの声】

- ・練馬でこんなにたくさんアニメが作られていると知ってびっくりしました。
- ・班の皆で協力し描いたことで、思い出が残る作品を完成させることが出来ました。
- ・作るのは大変だったけど、楽しくて他のアニメも作ってみたいと思いました。

【担当した講師の声】

最初は限られた時間の中でどこまでのアニメーションが作れるか不安でしたが、素晴らしい作品が仕上がりました。これをきっかけに練馬のアニメーションのことに興味をもってもらえるとうれしいです。



富士見台小学校にて職業に出会うプログラムを行いました

期間:平成23年11月12日(土)
学年:6年生3クラス(120名)
科目:総合的な学習の時間 時間数:1時間
担当:熊田慈子先生
講師:青山充氏(東映アニメーション)

【ねらい】

- アニメに関わる人に会って働く人の気持ちや仕事への誇りの部分に触れさせる。
- 練馬という地域を知ることや産業を知ることによって自分が将来どのように関わっていくのかを考えさせるきっかけにする。

【授業の内容】

各クラス1時間ずつ授業を実施した。

まず、大学生サポーターより練馬区のアニメ、アニメ産業について紹介した。その後、講師の青山さんより仕事現場の様子や仕事道具の紹介、アニメができるまでの工程を学んだ。

さらに、画と画の間をつなぐ中割体験を通じて、実際にアニメ制作体験を行った。最後に青山さんにアニメーターになったきっかけや、仕事への誇りを話していただいた。

【子供たちの声】

- ・アニメーション作りにはたくさんの人がいて役割分担していることがわかりました。
- ・たった30分というアニメでもものすごく苦労している。
- ・鏡を使って表情を確認していることが印象に残りました。
- ・自分の将来の夢でなくてもこの仕事は面白いと思いました。



関町北小学校にてアニメ制作体験プログラムを行いました

期間：平成23年11月29日(火)～12月15日(木)

学年：6年生3クラス(99名)

科目：図画工作 時間数：8時間

担当：藤江恵子先生

講師：遊佐かずしげ氏(メビウストーン)

【ねらい】

- アニメに関わるプロの仕事を通して、自らの生き方について考える。
- 自ら簡単なアニメを作り、作る楽しさを体験する。
- 他のグループが作成した作品との違いを鑑賞する。

【授業の内容】

＜第1～2時＞3クラス合同

講師の遊佐さんより、取り組んでいる仕事内容や、練馬区のアニメ・アニメ産業、さらにアニメの現場について教えていただいた。また、映像や演技、2枚のパラパラアニメ作成を通じて、アニメの動きの仕組み・アニメができる過程を学んだ。

＜第3～6時＞クラス別

グループに分かれ、キャラクター・ストーリーを作成した。役割分担を行い、作画に取り組む中で、アニメができる過程を学び、作る面白さを体験した。

＜第7～8時＞3クラス合同

制作したアニメを鑑賞したり、児童から作品紹介を行ったりした。その後遊佐さんよりアドバイスを受けた。もっといいアニメにするために、どんなところに気を付けたらいいかを学んだ。

【子供たちの声】

- ・アニメーターは描くだけでなく、演技力も必要ということがわかりました。
- ・実際にアニメを作ってみて、大変だと思いました。
- ・アニメは、いろいろな人の手によって作られていることがわかった。
- ・有名なアニメが練馬からできたことがびっくり。

【担当した講師の声】

3クラス99名もの子供たちがどこまでついて来てくれるか心配でしたが、25班に分かれて完全オリジナルアニメ(短編)25作品も作ってくれました。すごいです。私が授業用に作った担任の先生が出演するアニメを子供たちに披露した時のみんなの喜ぶ顔は忘れられません。「お芝居にチャレンジ」など、子供たちの情熱とパワーをすごく感じた楽しい授業になりました。



大泉東小学校にてクラブ活動プログラムを行いました

期間:平成23年10月17日(月)~12月5日(月)

学年:まんがクラブ4~6年生(21名)

科目:クラブ活動 時間数:4時間+α

担当:内村弘毅先生

講師:遊佐かずしげ氏(メビウストーン)

【ねらい】

- アニメーション制作について学んだり、実際に動画を作画したりすることを通して、日本や練馬のアニメーションの面白さ・よさを知る。

【授業の内容】

<第1時>

講師である遊佐さんの紹介とともに、練馬区のアニメ・アニメ産業について紹介した。アニメの仕事現場や、アニメを動かす原理を学んだ。その後、各自キャラクターを作成した。

<第2時>

遊佐さんより画と画の間をつなぐ中割の描き方や、作画作業のポイントを教えていただいた。その後、第1時で作成したキャラクターの動画を作画し、アニメを作る面白さを知った。

<第3時>

分担された絵コンテに沿って作画を行い、自分が担当したところの動画を作成した。担当分を責任をもって仕上げる中で、アニメができるまでの流れを体験し、面白さを味わった。

<第4時>

作品を鑑賞し、感想を話すとともに、遊佐さんよりアドバイスをいただいた。その後活動全体を振り返るワークを行い、アニメーションの面白さやよさを味わった。

※他にも朝活動として、チームごとに作業を分担し、作画を行った。

【子供たちの声】

- ・ つかれたけど、その分面白かった。
- ・ 一人の力は弱くても、沢山の人が集まれば強くなるのが、アニメを通して分かった。
- ・ アニメは一つ一つ手間をかけてやっている。
- ・ また自分たちでアニメを作りたいと思った。

【担当した講師の声】

今回は絵が好きな子供たちのクラブ活動でした。まず、4班に分かれて好きなキャラクターを描いてもらい、その後、私が絵コンテを描く方法をとりました。動画と編集に力点が置かれた授業でどの作品も高い完成度で仕上がりました。子供たちは「譲り合い」と「責任」を学びながら、アニメーション制作の疑似体験できたのではないのでしょうか。グッドジョブ！



田柄第二小学校にてクラブ活動プログラム(講師講演ver.)を行いました

期間:平成24年3月9日(月)
学年:読書マンガクラブ4~6年生(37人)
科目:クラブ活動 時間数:1時間(45分)
担当:杉山省子先生
講師:平松岳史氏(動画工房)

【ねらい】

- ①プロ・スペシャリストに出会うことで、「ホンモノの仕事」の凄さを実感する。
- ②「作ること」のおもしろさを感じる。
- ③地元「練馬区」のアニメ産業の価値を知る。

【当日の内容】

- ①練馬区のアニメ産業を知る
講師からの自己紹介のあと、「練馬区内のアニメ関連会社の数」クイズを切り口に、アニメ関連会社の数を紹介した。
- ②アニメーターのお仕事を知る
1本のアニメができるまでにどれくらいの人がかかわっているのか、どのように作られるのかなど、みんなが観ているアニメの「裏側」を教えてもらった。
- ③アニメーターが使う道具って？
タップなどの道具をどのようにつかっているのかを見せてもらった。
- ④2枚で動く！パラパラアニメ制作体験
2枚の絵だけでも動いて見える！体験を行った。講師の先生からいただいた1枚の絵をもとに、お手本をみながらもう1枚の絵を描いて、動かしてみた。なかには、オリジナルの絵や動きを考えて描く子もいて、2枚で動くいろいろなアニメができた。

【子供たちの声】

- ・パラパラの絵がただの絵だったのに、紙を動かすと絵が動いた。
- ・平松さんの「たくさん絵を描いて、他の人が楽しむような絵を毎日描いていけばきっと絵がうまくなる」という言葉で「もっとがんばろう」という気持ちになりました。

【担当した講師の声】

熱意ある生徒さんが沢山いらしたので、色々な夢を叶えていってほしいです。皆さん思い思い楽しく絵を描かれていたので今後も絵が好きな生徒さん、普段絵を描かない生徒さんにもパラパラアニメ制作キットを使っていただいて、絵を描く楽しさを知ってもらえれば嬉しいです。



大泉北小学校にてクラブ活動プログラム(講師講演ver.)を行いました

期間:平成23年11月28日(月)
学年:まんがクラブ4~6年生(33人)
科目:クラブ活動 時間数:1時間(45分)
担当:秋山洋子先生
講師:平松岳史氏(動画工房)

【ねらい】

- ①プロ・スペシャリストに出会うことで、「ホンモノの仕事」の凄さを実感する。
 - ②「作ること」のおもしろさを感じる。
 - ③地元「練馬区」のアニメ産業の価値を知る。
- これらのことを通し、クラブ活動としても、自分たちの描く絵をさらにブラッシュアップしていきたいと感じ、活動の幅が広がっていくことをめざす。

【当日の内容】

- ①練馬区のアニメ産業を知る
講師からの自己紹介のあと、「練馬区内のアニメ関連会社の数」クイズを切り口に、アニメ関連会社の数、動画工房が大泉学園の駅前にあることを紹介した。
- ②アニメーターのお仕事を知る
1本のアニメができるまでにどれくらいの人がかかわっているのか、どのように作られるのかなど、みんなが観ているアニメの「裏側」を教えてもらった。
アニメーターの方がどんな仕事をしているのか、目の前で絵を描いてもらった。
- ③2枚で動く！パラパラアニメ制作体験
2枚の絵だけでも動いて見える！体験をした。お手本を参考にしながら、それぞれが好きな絵を描いて動かしてみた。その後講師の先生からコメントをもらった。

【子供たちの声】

- ・30分アニメだけで70人も必要だということが印象に残った。(小4)
- ・たった2枚の紙でアニメができるなんて初めて知った。(小4)
- ・絵を上手に描くには、あきらめないことが大切だと思った。(小6)
- ・絵を描く速さがすごい。描く絵がすべてきれいでかわいい。(小6)

【担当した講師の声】

自由な創造力を働かせて皆さん思い思いの素敵なパラパラアニメを描かれていて素晴らしかったです。今後も描きたいことが思いついたら、楽しくパラパラアニメやイラスト・漫画を創ってほしいです。



豊玉中学校が職業に出会うプログラム(職場訪問)を行いました

期間:平成24年2月3日(金)

学年:1年生(7名)

科目:総合的な学習の時間(職場訪問) 時間数:1.5時間

担当:徳原正枝先生

見学先:東映アニメーション株式会社

【ねらい】

見学・働く人への質問を通して職業について理解する。
次年度(中学2年生)で行われる職場体験への布石として、生徒が興味のある職場を訪問した。

【当日の内容】

①東映アニメーションギャラリーの見学

②アニメーション制作の現場見学(1)

仕上げ(彩色)、特殊効果の作業風景を見学した。
働く人からどのような作業をしているのかの説明をお聞きした。

③働く人に質問

事前に送付していた質問事項に担当の方から回答してもらった。
子供たちからの質問は…

- ・仕事を辞めたいと思ったことは?
- ・やりがいは?
- ・必要な資格はあるか?
- ・どんな機材を使って制作しているのか?

……など。

④アニメーション制作の現場見学(2)

美術の作業風景や、作品ごとのスタッフルームの見学をした。

⑤ 試写室見学

普段スタッフが作品のラッシュ試写などに利用している試写室にて作品の鑑賞を行った。

- ・「アニメができるまで」
- ・狼少年ケン、美少女戦士セーラームーン、デジモンアドベンチャー、ドラゴンボール改、ワンピース、プリキュアなどのオープニング映像で東映の歴史やアニメ技術の変遷を知った。



田柄中学校にて部活動プログラムを行いました

期間:平成23年12月9日(金)～
学年:1～2年生(11名)
科目:美術部 時間数:1時間程度
担当:高村輝美先生
講師:平松岳史氏(動画工房)

【ねらい】

- 美術部の活動として、学校ホームページに掲載できるキャラクターを作る。
- 講師が来るまでに、キャラクターとその動きを決め、原画(色なし)を手分けして描き、プロのアニメーターから「動くアニメのおもしろさ」を指導してもらうことで、プロの仕事のすごさを実感する。

【当日の内容】

①アニメーターの仕事紹介

アニメにどれくらい関わる人がいるのかについてのクイズを用いながら、アニメの制作工程を紹介した。動画工房の社内の写真等も見せた。また、平松氏が普段使用している道具を紹介しつつ、どのような絵を描いているのかを実践した。

3DCGに関しては、どのように絵を描くのか、黒板を使ってイメージできるように「描き方」を実践した。



②キャラクターのプレゼンテーション

生徒が書画カメラを使用し、考えたキャラクターの名前、特徴などを紹介した。



③アニメーターからのアドバイス

ここまでできあがっている原画をつなげて動かしてみたアニメを確認した。生徒が考えたキャラクターを用いながら、どのように改善していくのがよいのかをアドバイスした。



【子供たちの声】

- ・手の動きが鮮やかというか美しいというか、プロはすごいと思いました。(中2)
- ・短いアニメでも作るのには、とても時間がかかることを知りました。普段、私たちが何気なく見ているアニメも、たくさんの人の努力があつてのアニメなんだと思いました。(中2)
- ・アニメは毎日のように見ている好きだけど、今日からはただ見るのではなく、アニメの制作に協力している人に感謝しなければいけないと思いました。(中1)

【担当した講師の声】

アニメーションの原理をとらえてアニメ作品を創られていて、皆さん将来が有望と感じました。今後もそれぞれの得意分野に磨きをかけて、色々なアニメ・絵画表現をしてほしいです。

練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」
平成23年度検証授業事例紹介
(平成24年3月発行)

練馬区区民生活事業本部産業地域振興部商工観光課
(平成24年4月から産業経済部商工観光課)
練馬区教育委員会事務局学校教育部教育指導課
(平成24年4月から教育振興部教育指導課)

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
TEL 03-3993-1111(代表)